別記様式第１４号（第４３条、第６３条関係）　　（記載例）

※　資料区分		※　受理警察署	（　　署）
※　受理番号		※　受理年月日	年　月　日
※　資格	１．警備員指導教育責任者　２．機械警備業務管理者		
※　種別		※　資格者証交付公安委員会	
※　書換え年月日		年　月　日	

※印欄は記入不要

警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~ 資格者証書換え申請書

警備業法 第２２条第５項 ~~第４２条第３項において準用する同法第２２条第５項~~ の規定により 警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~

資格者証の書換えを申請します。

不要文字は二重線で消す。

令和　〇〇　年　〇　月　〇　日

京都府　　公安委員会　殿

申請者の氏名

京都　太郎

（フリガナ） 氏　　名	キ ョ ウ ト　タ ロ ウ 京都　太郎
住　　所	京都府〇〇市××町３番地３ 電話　（〇〇〇）〇〇〇－〇〇〇〇番
生年月日	明治　大正　昭和　平成　令和　年　月　日 1　2　3　4　5　〇〇　〇〇　〇〇
警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~ 資格者証の番号	〇　〇　〇　〇　〇　〇
書換えを申請する事由	令和〇年〇月〇日　氏名を変更したため （旧）氏名　京都　次郎

フリガナはカタカナで記入し、濁点は１文字と数える。姓と名は１マス空ける。

番地、マンション名等は略さず、正確に記入する。

書換えの申請をすることになった事由について簡潔かつ具体的に記入する。

（警備員指導教育責任者資格者証の書換えの場合）

警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分	１号　~~２号　３号　４号~~

申請しようとする警備業務の区分以外の不要文字を二重線で消す。機械警備業務管理者資格者証を申請する場合には、この欄は記入不要。

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。
２　不要の文字は、横線で消すこと。
３　「書換えを申請する事由」欄には
４　「警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。
５　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。